

火山活動と火成岩 (1)

【1】 次の文章は火山についての説明である。() に当てはまる言葉を書くか、○でかこみなさい。

- (1) 地球内部の熱により地下の岩石が溶けてできた高温の液体を(①) という。
- (2) 地下の深いところでできた①は、地下数kmのところに入ったたまる。ここを、(溶岩ドーム ・ マグマだまり) という。
- (3) ①が地上に噴き出す現象を(②) という。
- (4) ②によって地上に噴き出されるものには、火山ガス、火山灰、軽石、火山れき、火山弾、溶岩などがあり、これらをまとめて火山(噴出物 ・ 堆積物) という。
- (5) マグマの粘り気が小さいと、気体成分が抜け出しやすいため(激しい ・ 穏やかな) 噴火になりやすく、火山は傾斜の(急 ・ ゆるやか) な形になる
- (6) マグマの粘り気が大きいと、気体成分が抜け出しにくいため(激しい ・ 穏やかな) 噴火になりやすく、火山は(円すい ・ ドーム) 状の形になる。溶岩が火口付近に盛り上がり、(溶岩ドーム ・ マグマだまり) をつくることもある。
- (7) マグマの粘り気が中程度の場合は(円すい ・ ドーム) 状の形の火山になる。

【2】 次の文章のうち、正しいものには○を、そうでないものには×を、() の中に書きなさい。

- (1) 過去一万年の間に噴火したことがある火山や、現在も活発に活動している火山を活火山という。()
- (2) 日本には100以上の活火山がある。()
- (3) 火山灰は、火山噴出物のうち直径2mm以下の粒でできたものである。()
- (4) 火山ガスは、マグマに溶けていた気体であり、その成分の90%以上が酸素である。()
- (5) マグマの粘り気の高さによって、火山の形や噴火の様子が変わる。()

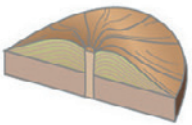
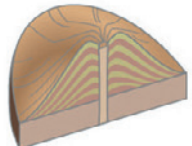
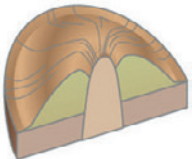
【3】 次の表は火山の特徴について表したものである。

() に当てはまる言葉を書きなさい。

火山の名前は

下の語群から選びなさい。

- しょうわ しんざん 昭和新山、富士山、
- あさまやま 浅間山、マウナロア山、
- うんぜん ふげんだけ 雲仙普賢岳

火山の形	溶岩のねばりけ	噴火のようす	噴出物の色	災害例	火山の例
 傾斜がゆるやかな形	①	③	⑤ つばい	流出 溶岩の	いず おおしま 伊豆大島 ⑦
 円すい形の火山	中間	中間	中間	降下 火山灰の	さくらじま 桜島 ⑧ ⑨
 ドーム状の火山	②	④	⑥ つばい	地面の盛り上がり 火砕流	⑩ ⑪